

私立大学図書館協会東地区部会 2001年度第2回役員会

議事要録

日 時: 2002年1月25日(金) 午後2時00分～午後5時30分

場 所: 亜細亜大学太田耕造記念館8階会議室A

出席者: 亜細亜大学(今井、青島、佐々木、安田)、相模女子大学(馬場)、  
女子美術大学(田中)、東北学院大学(鈴木)、明治大学(大野、折戸)、  
文教大学(宮内、戸田、三瓶、鈴木、藤倉、辺見)

議事に先立ち、部会長校図書館長宮内の挨拶と、研究部安田氏(市川氏の後任)の自己紹介が行われた。

議 事:

1 報告事項

(1) 東地区部会関係

ア. 東地区部会会務報告(4月～12月)

部会長校文教大学(戸田)から、資料(p.3-6)に基づき報告された。

資料訂正(p.4): 第1回役員会開催日 (木)→(金)

イ. 東地区部会研究部活動報告(4月～12月)

研究部担当理事校亜細亜大学(青島)から、資料(p.7-12)に基づき報告された。その中で、今年度初の試みであった「研究分科会報告大会(全13分科会の今期2年間の活動報告)」については盛況で、成功裡に終了した旨報告された。

資料訂正(p.8): 分科会発表者(追加) 土屋寛子(東京農業大学)、三浦政治(拓殖大学)

ウ. 研究分科会申し合わせの改訂及び運営方法について

研究部担当理事校亜細亜大学(青島)から、資料(p.13-16)に基づき、改訂の主旨と新たな運営方法案について説明され、次回の研究部運営委員会で最終案を作成することが報告された。また、現行申し合わせの年号表記(元号を西暦に統一するか否か)については、別途協議することになった。

分科会更新担当理事校女子美術大学(田中)から、来期会員の応募状況が報告された。

(2) 第2回常任幹事会報告

部会長校文教大学(戸田)から、昨年12月11日(火)に行われた常任幹事会の議事要録(p.18-23)に基づき報告された。その後の経過について、以下の点が補足された。

- ・国際図書館協力委員会は1月25日、今年度の海外集合研修の中止を決定した。
- ・協会ホームページ委員会は、検討中の有料サイトについての最終案を3月の第2回東西合同役員会で提出する。これについて部会長校文教大学(藤倉:協会ホームページ委員)から、検討のための臨時委員会を2月に開催する(於:明治大学)との補足がなされた。それに対して、研究部担当理事校亜細亜大学(青島)から、研究分科会ホームページ用の容量を考慮してほしいとの要望がなされた。
- ・国公立大学図書館協力委員会は、昨年12月7日に開催された「大学図書館著作権問題ワークショップ」における配布資料「大学図書館における著作権Q&A」を国立大学図書館協議会ホームページで公開した。また、著作権問題については11月頃から当事者(大学図書館、著作権者)間協議が開始される予定。
- ・エルゼビア・サイエンス社問題に関する臨時委員会は1月18日、公正取引委員会を訪問し、審査の促進を要請した(長谷川端私立大学図書館協会会長、遠藤浩良日本薬学図書館協議会会長、委員の計7名)。

資料訂正(p.20): 3 その他 → 4 その他

2 協議事項

(1) 2001年度東地区部会中間決算について

部会長校文教大学(戸田)から、資料(p.34)に基づき報告され、承認した。

資料訂正(p.34): 支出の部 残額 → 差異

(2) 2001年度東地区部会研究部中間決算について

研究部担当理事校亜細亜大学(青島)から、資料(p.35)に基づき報告され、承認した。

資料訂正(p.35): 表題 決算報告書 → 中間決算報告書

収入の部 差異の△を雑収入にのみ付与し他の科目の△を取る

(3) 2002年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)について

部会長校文教大学(戸田)から、資料(p.36-37)に基づき提案された。

事業計画(案)については、今役員会の議を経て来年度第1回役員会において最終案を決定するという前提で協議した。その結果「(5)相互協力活動の推進」の内容に関して、より具体的な運用方法や目標設定を再検討することを確認した。

予算(案)については「館長会・研究講演会費」と「館長・事務長会議費」を計上している点について、開催時期設定(館長会:部会総会同日午後 / 館長・事務長会議:隔年)の経緯を再確認した。このことから、今後の館長会・研究講演会をどうするかという議論に及んだ。結果としては、他の協議事項(6)、(7)における要再検討の内容を含めた最終案を来年度第1回役員会までに作成することになった。

資料訂正(p.36): 1. (5)「今年度は」の削除

2. (予定) → (未定)

(補足)「館長会」と「館長・事務長会議」の開催について

1. 同日開催(午前:館長会、午後:館長・事務長会議)を取りやめた理由

- ・低い参加者数(宿泊を伴う出張になるため)
- ・当番校の負担(午前、午後、懇親会)を考慮

2. 研究会開催回数(年2回)の変更理由

1回目(6月の部会総会午後)の内容は研究分科会の発表だったが、年度始めの発表になるため研究時間も少なく、研究分科会への負担が大きい。

3. 部会総会午後の内容についての検討(今期)

2の変更を受けて、第1回研究会を開催していた部会総会の午後に、館長会を開催することにした。

しかし、2001年度は切り替え時期で、部会総会承認前に企画しなければならなかったため間に合わず、館長会という名称ではあるが、実質は講演会そのものとならざるを得なかった。

(4) 2002年度研究部活動計画(案)及び予算(案)について

研究部担当理事校亜細亜大学(青島)から資料(p.38-39)に基づき提案された。

活動計画(案)については、了承した。来期の研究分科会について、新設のメタデータ研究分科会を含め14分科会を予定しているが、2月13日〆切の会員応募状況を見て、最終的に決定するとの報告がなされた。

予算(案)については、参加費収入を減らして研究部負担にすることで加盟校の負担を減らすという、予算編成の趣旨が説明され、了承した。

(5) 2002年度館長会・研究講演会開催(案)について

部会長校文教大学(戸田)から、資料(p.41)と前項(3)の協議内容に基づき提案された。その結果、部会総会の午後は、参加館の館長同士が懇談できる実質的な館長の会合(館長会)と、部会総会参加者と館長がともに参加できる講演会(研究講演会)を企画し開催する方向で検討することになった。

また費用については、館長会は部会、研究講演会は研究部という分担にすべきだという意見が出された。

以上をふまえ、来年度第1回役員会までに研究部と相談の上、部会長校より再提案することを確認した。

(6) 2002年度館長・事務長会議の開催(案)について

館長・事務長会議担当理事校東北学院大学(鈴木)から、資料(p.42-43)に基づき提案された。これについて、参加費(懇談会費)を少なくして加盟校の負担を軽減し、参加しやすい体制を確立すべきとの意見が出された。現在未定の事項も含め、部会長校・会場校と連携し、来年度第1回役員会までに最終案を決めていくことを確認し、了承した。

(7) 東地区部会謝礼等の申し合わせについて

部会長校文教大学(戸田)から、資料(p.44)に基づき提案された。

交通費の支給について、近距離も支給した方がよいのではないかと、文章が分かりにくいのではないかと意見が出された。これについては、文言を部会長校で整理することを確認した。

また、会場校への謝礼額を上げてはどうかという意見が出されたが、額を上げることにより大学の雑収入として処理されてしまい、実際に運営に従事してもらった会場校職員への謝礼という目的を果たせない可能性を考慮した、との説明がなされた。

それを受けて、部会総会費の内訳が会場校への謝礼のみという実態に則し、科目名を「会場校謝礼」に変更してはどうかという意見も出された。これについては、予算(案)の再検討内容に含めて来年度第1回役員会までに調整し、再提案することを確認した。

(8) 役員校選考委員会委員の選出について

部会長校文教大学(戸田)から、資料(p.45)に基づき提案され、承認した。これを受けて、部会長校から候補校宛に依頼状を送付することを確認した。

### 3 その他

(1) 図書館運営戦略研究分科会「大学図書館のイノベーション」(講演会案内)について

研究部担当理事校亜細亜大学(青島)から資料(p.46)に基づき報告された。なお、役員校からも参加いただきたいとの案内があった。

(2) 東地区部会ホームページレイアウト変更について

協会ホームページ委員会(藤倉)から、資料(p.47)に基づき提案され、別途研究部へ再提案されることを確認した。

(3) 複写料金の一括処理制度について

監事校明治大学(折戸)から、資料(当日追加)に基づき提案された。内容は、

・山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム(監事校が「幹事館代表」を担当)における検討の経緯説明。

・私立大学図書館協会としての制度設立と、関係団体(国公私立大学図書館協力委員会、国立情報学研究所)との連携体制確立に向けての検討依頼。

の2点であった。この件については、部会事業計画(案)に絡めて検討し、来年度第1回役員会で部会長校から提案されることを確認し、了承した。

以上